

高知県スポーツ推進計画（案）

平成25年●月

高知県教育委員会

はじめに

スポーツは、心身の健康の保持増進や体力の向上など、体を動かすという人間の根源的な欲求に応え、心身の健康の保持増進だけでなく、青少年の健全育成や地域社会の再生、生活習慣病の予防、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するものであり、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境を整備することは大きな意義のあるものです。

このため、高知県では、平成14年に本県のスポーツ推進指針となる「とさのスポーツプラン」を策定し、これまで総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、子どもの体力向上や競技力向上、さらにはプラン初年度には、「よさこい高知国体（第57回国民体育大会）」、「よさこいピック高知（第2回全国障害者スポーツ大会）」、日本スポーツマスターズ2008・2012の開催など積極的にスポーツ振興施策を推進してきました。

しかし、プラン策定から10年が経過し、この間に、県民のスポーツニーズの多様化や全国より10年先行する少子高齢化問題など、本県のスポーツを取り巻く環境が大きく変化しています。また、国においても平成23年6月に「スポーツ基本法」が制定され、平成24年3月には「スポーツ基本計画」が策定されたところです。

併せて、スポーツの指導場面における暴力が社会問題化し、スポーツに関わる全ての人たちが、スポーツの意義・価値を取り戻すための取組を開始し、新たな波を起し始めているところです。

こうした国の動きや本県の持つ課題に対応し、新しい時代に即したスポーツ振興を図るため、「高知県スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画は、「子どもの体力の向上」「競技力の総合的な向上」「生涯スポーツの推進」の3つの施策を柱とし、総合的かつ計画的に推進するための具体的な取組等を明確にしています。

今後は、この計画に基づき、市町村やスポーツ関係機関・団体と連携を図りつつ「スポーツを通じて健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会」を目指して、より一層のスポーツの振興に取り組んでまいります。

終わりに、本計画の策定にご尽力をいただきました関係者の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました県民の皆様方に感謝申し上げます。

平成25年 月

第1章 計画の概要

1. 計画の策定背景及び趣旨	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の期間	1
4. 計画の見直し	1
5. 他の計画との調和	1

第2章 計画の基本方針

1. 計画の基本方針	2
2. 計画の3つの柱と基本的な取組	3
(1) 子どもの体力の向上	3
(2) 競技力の総合的な向上	4
(3) 生涯スポーツの推進	5
3. 計画の体系図	6

第3章 スポーツ推進の基本的な取組

1. 子どもの体力の向上	8
(1) 子どもの運動・スポーツ機会の充実	8
(2) 子どもの発達段階に応じた望ましい生活習慣の定着	10
2. 競技力の総合的な向上	12
(1) 競技選手の育成強化	12
(2) 競技力向上のためのサポート体制の充実	14
3. 生涯スポーツの推進	16
(1) 地域におけるスポーツ活動の推進	16
(2) 地域におけるスポーツ環境の充実	18

第4章 計画の推進と進捗管理

1. 計画推進の考え方	20
2. 推進組織と進捗状況の管理	20
3. 市町村との連携	20
4. スポーツ団体等との連携	20
5. 企業等との連携	20

参考資料	21
-------------	----

第1章 計画の概要

1. 計画の策定背景及び趣旨

本県では、平成14年2月に、生涯にわたり県民の健康・スポーツを計画的・総合的に推進するため、高知県生涯スポーツ振興計画「とさのスポーツプラン^{※1}」を策定しました。

この計画では、誰もが生涯を通じて、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しめる「生涯スポーツ社会」の実現を目指して、「生活スポーツ」「競技スポーツ」「学校における体育・スポーツ」「スポーツと健康に関する教育・学習」の4つの分野に分け、それぞれが相互に連携しながら取組を進めてきました。

また、中間年度である平成19年度には見直しを行い、「スポーツの振興を通じた子どもの体力の向上」を新たな柱として加え、後半の取組を進めてきました。

こうした中、国では「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、新たに「スポーツ基本法」が制定され平成23年8月24日に施行されました。また、平成24年3月には、国の今後10年間のスポーツ推進の基本方針と今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき内容を示した「スポーツ基本計画」が策定されました。

これまで、県教育委員会では「高知県教育振興基本計画^{※2}」に基づき、子どもの体力の向上及び地域のスポーツ環境の充実に向けた取組を進めてきました。今回、「スポーツ基本法」及び同法に基づき策定された「スポーツ基本計画」を参酌し、県民が「スポーツを通じて健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会」の実現を目指し、「高知県スポーツ推進計画」を策定することとしました。

2. 計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法第10条第1項に定める国のスポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるように努めるものと規定された「地方スポーツ推進計画」であり、本県のスポーツの推進を図るための基本的な方向性を示すものです。

3. 計画の期間

計画の期間は、平成25年度から平成34年度までの概ね10年間とします。

4. 計画の見直し

国の計画が、今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策を体系化しており、国の動向を踏まえながら、本計画は、平成29年度に計画の見直しを図るものとします。

5. 他の計画との調和

取組の実施にあたっては、県が策定した「第3期高知県健康増進計画よさこい健康プラン21^{※3}」と調和のとれたものとしています。

第2章 計画の基本方針

1. 計画の基本方針

この計画は、スポーツ基本法、スポーツ基本計画における内容をもとに、高知県の現状や課題を踏まえ策定したスポーツ推進計画です。

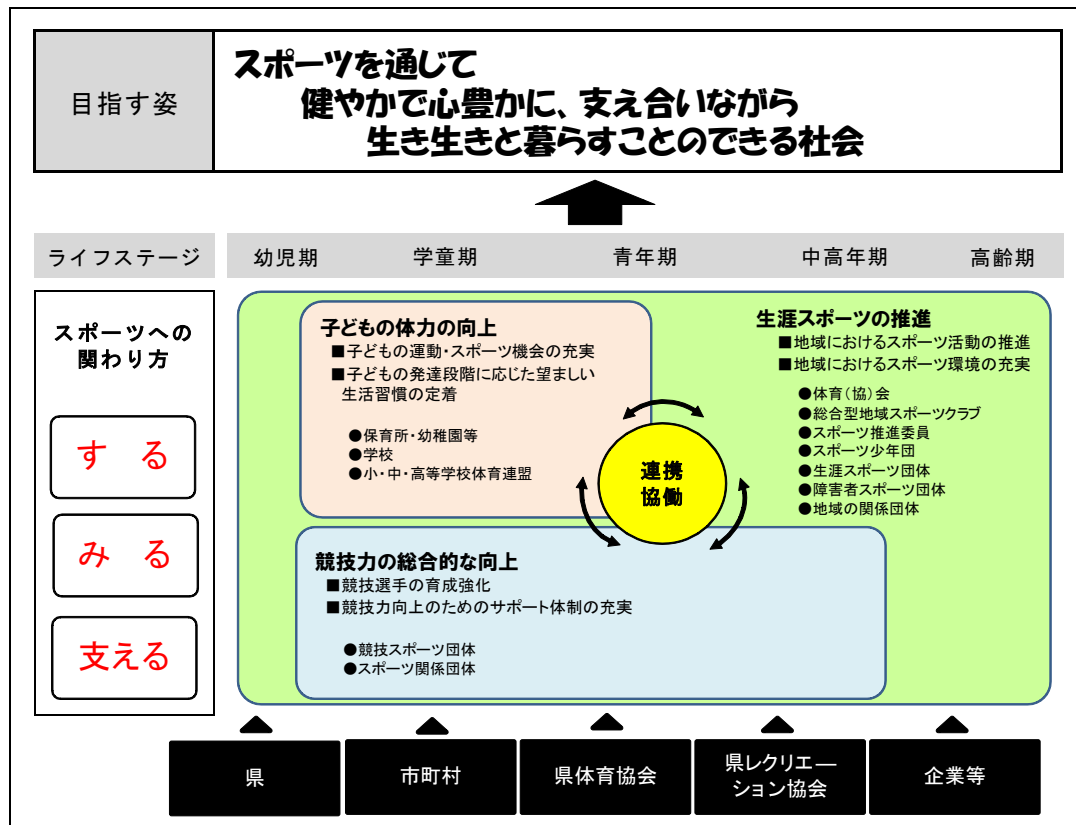
本計画においては、「**スポーツを通じて健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会**」をこれからの本県の目指す姿とし、それを実現するため、「**子どもの体力の向上**」「**競技力の総合的な向上**」「**生涯スポーツの推進**」を3つの柱とし、それぞれに取組目標を定めました。

その際、スポーツを実際に「する人」だけではなく、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦等スポーツを「みる人」、そして質の高い指導者の育成やスポーツボランティアといった「支える人」にも着目し、県民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えるものです。

また、この計画は年齢や性別、障害の有無等を問わず、広く県民が、関心、適性等に応じて、日常的に運動やスポーツに親しむことのできることを目指すものであり、すべての県民が対象となるスポーツ推進計画です。

この計画を策定するにあたり、県や市町村、高知県体育協会、高知県レクリエーション協会、スポーツ団体、総合型地域スポーツクラブ^{※4}、スポーツ推進委員^{※5}、学校など高知県のスポーツ関係者の連携・協働により、より実効性の高いスポーツ推進計画の策定に努めました。

【計画の全体像】



2. 計画の3つの柱と基本的な取組

(1) 子どもの体力の向上

子どもにとって運動やスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものです。

本県の子どもの体力は、平成20年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査^{*6}結果では全国最低水準でしたが、その後の取組により大きく改善され、全国平均を上回る項目も見られるようになりました。しかし、体力の向上要因として重要な「運動頻度・運動時間・運動の好き嫌い」などの数値の多くは、全国平均に達していないのが現状です。

本県は山間地が多く、自家用車による移動が欠かせないため、大人だけではなく、子どもの運動量も少なくなっています。

また、学校等の統廃合によるスクールバス等での通学が多くなり、徒歩による通園・通学や放課後の外遊びの時間が減少しています。さらに、少子化のために遊びの集団が維持できない地域、運動部活動において単独でチームが組めない学校など、運動する環境に多くの課題が見られます。

加えて、価値観が多様化しており、睡眠時間よりも学習時間（塾等）が優先されたり、ゲームや携帯電話等に時間を費やしたりするなど、健康な体をつくる基礎である望ましい生活習慣が定着していない子どもも増えています。

このことから、学校での体育・体育的活動は、すべての子どもたちが体を動かす機会であるとともに、生涯を通じて健康でスポーツに親しむ習慣を身につける基礎となるため、より充実した活動とすることが求められます。

こうしたことを踏まえ、学校、家庭、地域が連携して子どもの体力の向上や、健康教育等の充実を図るための取組を行います。また、幼児期運動指針^{*7}（文部科学省）の取組をもとにして、幼児期から楽しく体を動かす遊びを通じて多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎を培い、運動好きの子どもを育てるための環境を整える活動を推進していきます。

その結果として、運動好きの子どもが育ち、子どもの望ましい生活習慣が定着し、体力・運動能力が確実に向上することを目指します。



【体育授業の充実】

運動好きの子どもを育てる授業



【郷土料理の実習体験】

地元でとれたナス、魚を活用した調理実習

（２）競技力の総合的な向上

本県のトップレベルの競技選手やその指導者たちが、技能を高め記録に挑戦し、国民体育大会をはじめとする全国大会等において活躍する姿は、県民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらし、スポーツの普及・振興を推進するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に寄与するものです。

国民体育大会の競技成績は、下位に低迷しているものの、ここ数年、四国ブロック大会の突破率に上昇傾向が見られます。競技によっては、ジュニア期からの一貫した指導が実り、全国大会や国際大会で活躍する競技選手が育成され、ロンドンオリンピックに県内女性が初めて出場するなど明るい話題も聞かれています。しかし、少子高齢化が進む中、競技選手の確保が難しい状況に直面しています。県内における企業スポーツは限られ、競技選手の受皿も少ないため、将来の本県スポーツ界を支えるべき優秀な競技選手が、より良い環境を求めて県外に進学、就職するという課題が見られます。

また、今日の競技力向上には、スポーツ医・科学^{※8}の活用によるところが大きく、効果的かつ効率的なトレーニング方法を実践するための専門体力測定の実施など、競技選手個々へのサポート体制の整備が必要不可欠です。

こうしたことを踏まえ、競技選手の育成強化のため、高知県体育協会や競技団体、関係団体と連携し、ジュニアからトップレベルに至るまで系統的な育成環境の充実を図り、競技選手が効果的かつ効率的なトレーニングができるような体制づくりに努めます。また、指導者の指導力の向上にも、積極的に取り組みます。

その結果として、競技選手のサポート体制が整備され、競技力が向上し、国内外で活躍できる多くの優秀な競技選手の育成を目指します。



【高知県ジュニア選手育成事業「高知くろしおキッズ」】

育成プログラムで活動するキッズ達



【国民体育大会（空手道・レスリング・陸上競技）】

入賞目指して奮闘する高知県選手

(3) 生涯スポーツの推進

県民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、誰もが、ライフステージに応じてスポーツ活動に取り組むことが必要です。

生涯スポーツを推進するには、本県の持つ課題を明らかにし、その課題を解決するために、様々な関係機関が連携・協働して、総合的・計画的に取り組んでいくことが必要です。

まず、本県成人の週1回以上の運動・スポーツの実施状況は向上傾向にあります。この傾向は総合型地域スポーツクラブが県内24市町村に32クラブ設立されたことや日常的にスポーツ活動が行えるよう、学校体育施設の開放に取り組んでいることなどがその要因としてあげられます。しかし、その数は十分とは言えず、地域住民のスポーツニーズに対応できる指導者も不足しています。特に、健康運動指導士^{※9}等の健康づくりのための有資格指導者は、高知市とその周辺に集中しており、それ以外の地域で活動できる指導者は少ない状況です。

また、本県の高齢化率は全国においても極めて高い水準にあり、高齢者が無理なく日常的にスポーツ活動や健康づくりに参加できる機会を提供することが急務となっています。

こうしたことを踏まえ、地域におけるスポーツ活動を推進するため、住民が、その地域でそれぞれの体力や年齢、技術、興味・関心に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも運動・スポーツに親しむことができるよう、スポーツ関係団体や市町村の関係部局と連携・協働し、地域のスポーツ団体の育成・支援、スポーツ指導者やスポーツ施設の充実を図ります。

その他、スポーツツーリズム^{※10}を目指したイベントの開催により、スポーツを実際に「する人」だけでなく、大会を観戦する「みる人」、そして指導者やボランティアといった「支える人」にも着目し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えていきます。

その結果として、地域住民の運動・スポーツに関する興味・関心が高まり、運動・スポーツ活動への積極的な参加が図られ、スポーツ実施率の向上とともに、活動を通じた地域の活性化や連帯感の醸成を目指します。



【グラウンド・ゴルフ教室】

地域の指導者が休日に実施するスポーツ教室

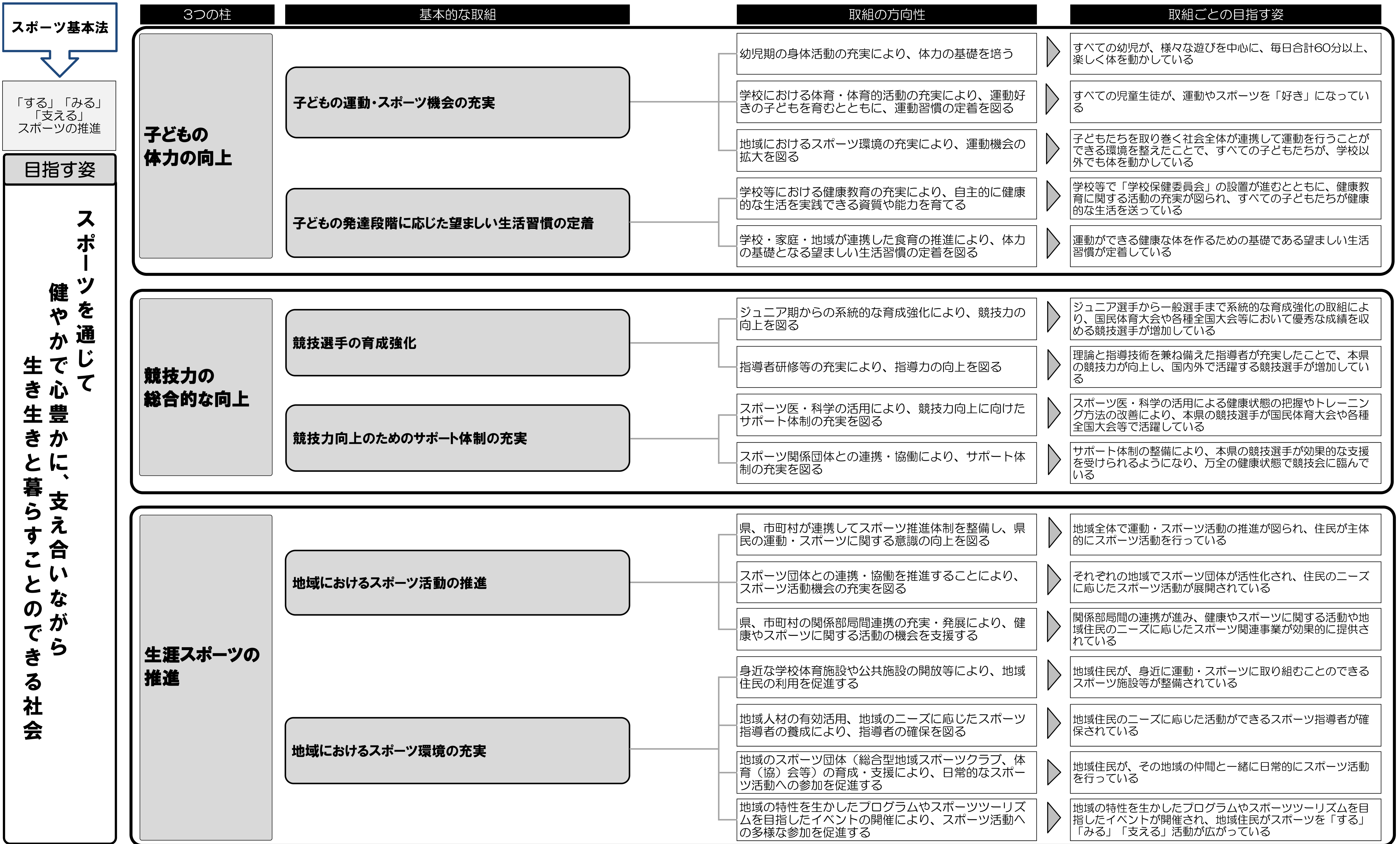


【どろんこ大会】

総合型地域スポーツクラブが実施するイベント

3. 計画の体系図

高知県スポーツ推進計画【体系図】



第3章 スポーツ推進の基本的な取組

1. 子どもの体力の向上

(1) 子どもの運動・スポーツ機会の充実

① 目指す姿

- すべての幼児が、様々な遊びを中心に、毎日合計60分以上、楽しく体を動かしている。
- すべての児童生徒が、運動やスポーツを「好き」になっている。
- 子どもたちを取り巻く社会全体が連携して運動を行うことができる環境を整えたことで、すべての子どもたちが、学校以外でも体を動かしている。

② 現 状

■子どもたちの運動習慣について

- ・運動やスポーツを「毎日している」と答えた割合は、小学5年男子59%、女子31%・中学2年男子79.5%、女子53.7%でともに全国平均を下回っている。(P25②参照)
- ・運動やスポーツの実施時間「30分未満」と答えた割合は、小学5年男子15.3%、女子31.2%・中学2年男子13.2%、女子36.8%でともに全国平均を上回っている。(P25②参照)

■子どもたちの運動やスポーツに対する肯定感について

- ・運動やスポーツが「好き」と答えた割合は、小学5年男子67.7%、女子45.6%・中学2年男子58.2%、女子34.2%でともに全国平均を下回っている。(P26④参照)
- ・運動やスポーツが「得意」と答えた割合は、小学5年男子40.3%、女子23.3%・中学2年男子25.8%、女子11.8%でともに全国平均を下回っている。(P27⑤参照)

■子どもたちの体を動かす機会について

- ・スクールバスや自家用車による通園・通学の増加により、歩く機会が減少している。
- ・放課後の遊ぶ時間や、遊ぶ仲間が減少している。

【平成24年度高知県体力・運動能力、運動習慣等調査より】

③ 取組目標

子どもたちの運動やスポーツをする機会の充実を目指し、保育所・幼稚園等、学校、地域において運動好きの子どもたちを育てることができる環境を整える。

そうした取組により、今後10年間、体力の向上傾向を維持し、子どもの体力・運動能力の確実な定着を図ることを目標とする。

④ 取組の方向性

■ 幼児期の身体活動の充実により、体力の基礎を培う

- ・ 発達段階に応じた運動遊び等の活動の推進
- ・ 運動遊びの指導力向上に関する研修会の充実
- ・ 家庭において親子で一緒に体を動かすための啓発活動の推進

成果指標：就学前の運動遊びを含んだ身体活動の時間が、1日合計60分以上の子どもの割合が向上する。

■ 学校における体育・体育的活動の充実により、運動好きの子どもを育むとともに、運動習慣の定着を図る

- ・ 指導力の向上に関する研修会の充実
- ・ 外部指導者等の派遣による指導力の向上
- ・ 体育・体育的活動の充実を図るための指導資料等の充実

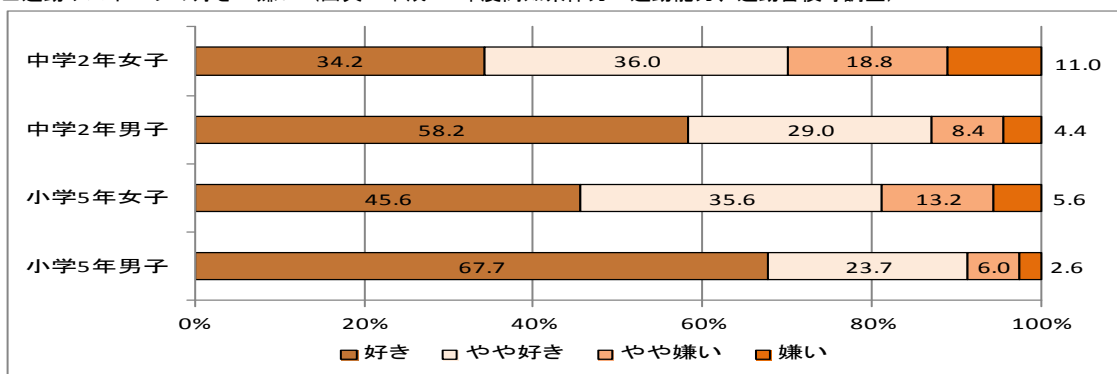
成果指標：「運動やスポーツが好き」と答える子どもの割合が増加するとともに、運動頻度・運動時間が全国平均を上回る。

■ 地域におけるスポーツ環境の充実により、運動機会の拡大を図る

- ・ 地域のスポーツ団体等が中心となる日常的なスポーツ活動機会の充実
- ・ 運動やスポーツを通じた世代間交流や地域の特性を生かしたスポーツイベント等の開催によるスポーツ参加機会の充実

成果指標：子どもたちが地域のスポーツクラブ等に入り、運動やスポーツの実施が習慣化している子どもの割合が全国平均を上回る。

■ 運動やスポーツの好き・嫌い（出典：平成24年度高知県体力・運動能力、運動習慣等調査）



- 運動やスポーツが「好き」と答えた割合は、小学5年男子が一番高く、中学2年女子が一番低い。
- 運動やスポーツが「好き」と答えた割合は、小学校から中学校になると男女とも低くなる。
- 運動やスポーツが「嫌い」と答えた割合は、小学校から中学校になると男女とも高くなる。
- 運動やスポーツが「嫌い」と答えた割合は、小中学校とも、女子が男子の倍以上高くなる。

(2) 子どもの発達段階に応じた望ましい生活習慣の定着

① 目指す姿

- 学校等で「学校保健委員会^{※11}」の設置が進むとともに、健康教育に関する活動の充実が図られ、すべての子どもたちが健康的な生活を送っている。
- 運動ができる健康な体を作るための基礎である望ましい生活習慣が定着している。

② 現 状

■子どもたちの朝食について

- ・朝食を毎日「必ず食べる」割合は、小学生 92.0%、中学生 82.8%、高校生 75.7%であり、調査を開始した平成 14 年度から、それぞれ 8.6 ポイント、5.7 ポイント、7.9 ポイント増加している。【平成 23 年度高知県児童生徒の生活スタイル調査より】(P11 グラフ参照)

■子どもたちの睡眠について

- ・睡眠時間が 6 時間未満の子どもが全体に占める割合は、小学生では、男子 9.0% (H22：全国平均 5.9%)、女子 4.9% (H22：全国平均 3.6%) で、全国平均を上回っている。(P28⑦参照)

■子どもたちの生活習慣と体力について

- ・朝食を「毎日食べる」子どもの方が、「毎日食べない」子どもより、小学生、中学生ともに体力合計点は高い。特に「毎日食べる」中学生の男子の体力合計点は全国平均を上回っている。(P27⑥参照)
- ・1 日の睡眠時間について、小学生では、「6 時間未満」より、それ以上多くとっている子どもの方が体力合計点は高い。高知県では、睡眠時間が「6 時間未満」の小学生の割合が全国平均を上回っている。(P28⑦参照)
- ・体を多く動かしている（運動頻度が多い、運動時間が長い）子どもは、小学生、中学生ともに体力合計点が高い。高知県では、「運動をしていない」子どもの割合が全国平均を上回っている。(P28⑧参照)

【平成 24 年度高知県体力・運動能力、運動習慣等調査より】

③ 取組目標

子どもの発達段階に応じた望ましい生活習慣の定着を目指し、学校等における健康教育の充実及び、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。
そうした取組により、子どもたちが健康的な生活を送ることを目標とする。

④ 取組の方向性

■学校等における健康教育の充実により、自主的に健康的な生活を実践できる資質や能力を育てる

- ・健康に関する正しい知識の普及や望ましい生活習慣の確立に向けての体制づくり
- ・学校保健委員会等の設置及び活動により組織全体での取組の充実
- ・子どもたちの健康に関する調査・研究・評価など、様々な活動の充実

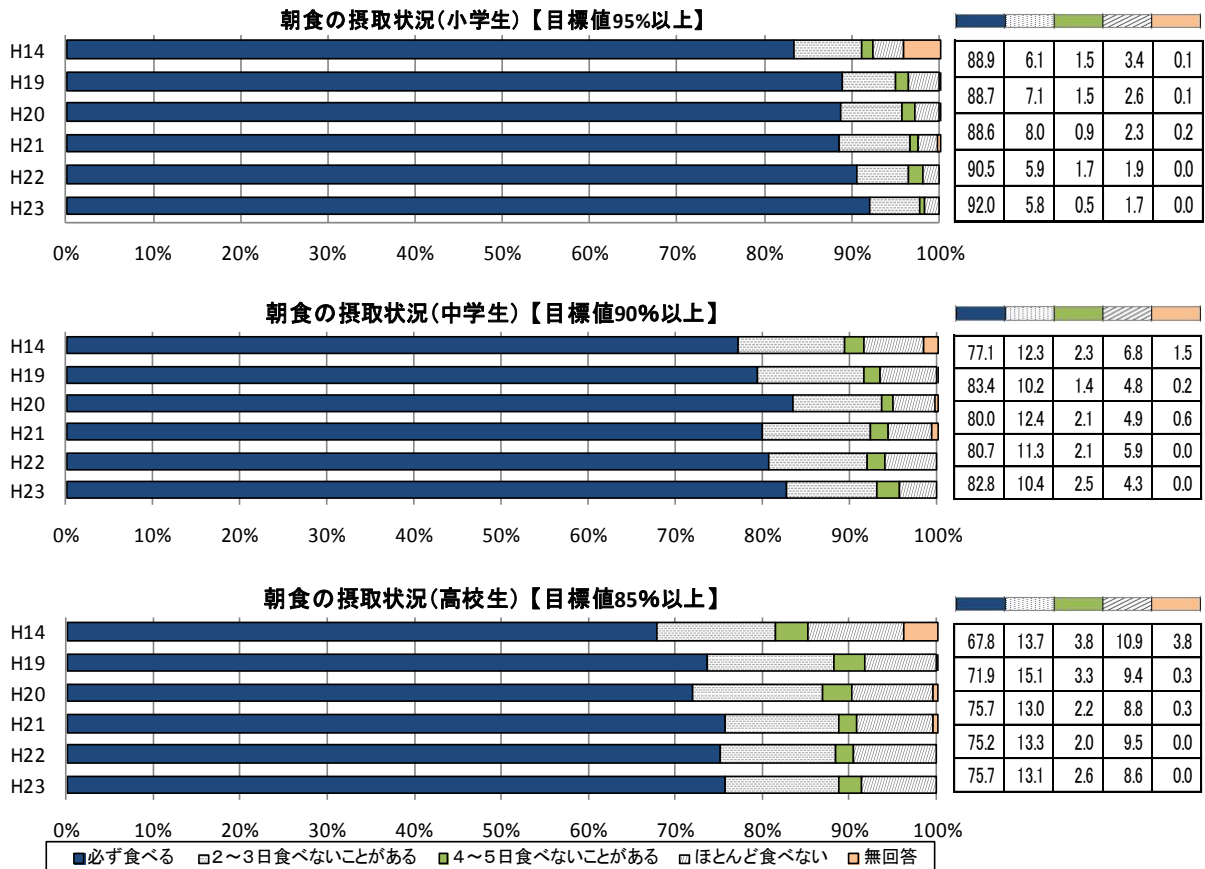
成果指標：「学校保健委員会」の設置率が向上し、学校保健計画や年間指導計画に基づいた活動が充実する。

■学校・家庭・地域が連携した食育の推進により、体力の基礎となる望ましい生活習慣の定着を図る

- ・児童生徒の生活スタイルに関する調査等による実態の把握及び課題解決に向けた取組の充実
- ・児童生徒の望ましい食生活の定着に向けた生活習慣改善指導の継続的な実施
- ・学校・家庭・地域が連携し「早ね、早おき、朝ごはんプラス運動」の規則正しい生活リズムの定着及び自ら実践できるよう支援の充実

成果指標：学校において、食に関する指導の全体計画及び年間指導計画や生活ふりかえり票^{※12}等による生活習慣改善指導が進み、朝食の摂取率が向上する。

■朝食摂取率（出典：平成23年度高知県児童生徒の生活スタイル調査）



朝食を毎日「必ず食べる」割合は、平成22年度と平成23年度を比較すると、小学生1.5ポイント、中学生2.1ポイント、高校生0.5ポイント増加している。

2. 競技力の総合的な向上

(1) 競技選手の育成強化

① 目指す姿

- ジュニア選手から一般選手まで系統的な育成強化の取組により、国民体育大会や各種全国大会等において優秀な成績を収める競技選手が増加している。
- 理論と指導技術を兼ね備えた指導者が充実したことで、本県の競技力が向上し、国内外で活躍する競技選手が増加している。

② 現 状

■競技人口について

- ・競技人口が増加している競技はあるものの、競技団体全体としては減少傾向にあり、学校運動部活動においては、合同チームが増加している。
- ・優秀なジュニア選手の県外流出や、進学を機会にスポーツから離れる競技選手もいる。さらに、県内の企業スポーツが限られ、競技選手の受皿等が少ないため、将来の本県スポーツ界を支えるべき優秀な競技選手が県外へ進学、就職している。

■国体等の全国大会における競技成績について

- ・国民体育大会の男女総合成績(天皇杯)^{※13}については、ここ数年、下位に低迷している。
(天皇杯 H22 : 47 位 H23 : 46 位 H24 : 47 位) (P13 グラフ参照)
女子総合成績(皇后杯)^{※14}については向上傾向が見られる。
(皇后杯 H22 : 47 位 H23 : 43 位 H24 : 42 位)
- ・国民体育大会四国ブロック大会の突破率は改善傾向にある。
(H22 : 16.6% H23 : 16.9% H24 : 22.4%) (P13 表参照)
また、競技によっては、全国大会や国際大会において小学生や中学生の活躍が見られ、将来有望な競技選手が育っている。
 - ・近年、お家芸競技^{※15}での得点が減少している。

■競技スポーツの指導者について

- ・国民体育大会に参加する監督については、平成25年度より公認指導者資格が必須となるため、有資格の指導者は増えている。(H13 : 745 名→H24 : 909 名) (P32⑤参照)
- ・学校の運動部活動においては、教員の異動等により継続的な指導が困難な場合がある。
- ・指導者に関わる講習会等への参加者は固定化傾向にある。

【県教育委員会調べより】

③ 取組目標

競技選手の育成強化を目指し、高知県体育協会や競技団体、関係機関が連携し、競技選手の育成環境の充実を図る。

そうした取組により、競技力が向上し、全国大会等で活躍できる優秀な競技選手が育つことを目標とする。

④ 取組の方向性

■ジュニア期からの系統的な育成強化により、競技力の向上を図る

- ・「お家芸競技復活プロジェクト」の展開及びそれに続く競技の重点強化
- ・ジュニア選手を中心とした育成強化
- ・女子種別の育成強化
- ・各競技の体験教室等の実施や総合型地域スポーツクラブとの連携による競技人口の確保
- ・クラブチーム等における系統的な指導体制づくりの検討

成果指標：毎年の国民体育大会の競技得点及び四国ブロック大会の突破率が向上する。

- ・国民体育大会獲得競技得点(210点以上)
- ・四国ブロック大会突破率(20%以上)

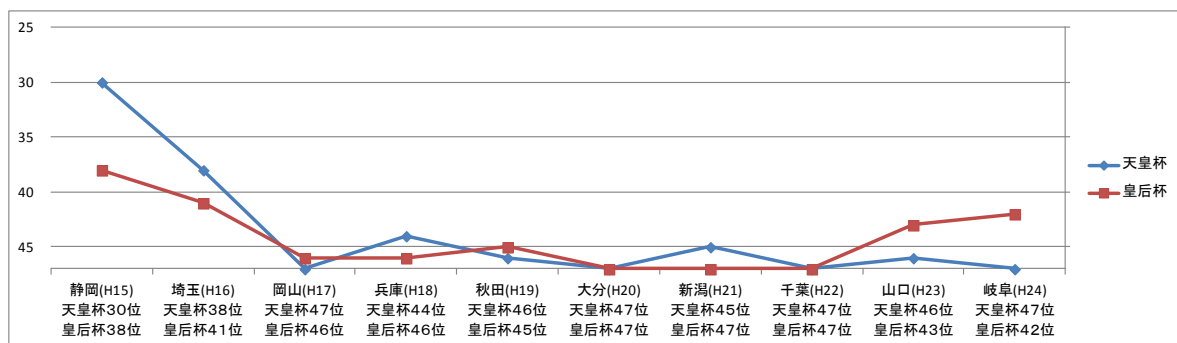
■指導者研修等の充実により、指導力の向上を図る

- ・スポーツ医・科学、メンタル及び指導技術やトレーニング法等に係る指導者研修会の開催による指導者の資質の向上
- ・優秀チーム招聘事業及び優秀コーチ招聘事業を活用した指導力の向上
- ・指導者資格取得の推進

成果指標：理論と指導技術を兼ね備えた指導者が増加する。

- ・有資格指導者数、研修会等の参加者数、競技団体におけるトップチームに関わる指導者数

■国民体育大会 天皇杯／皇后杯順位（出典：県教育委員会調べ）



■国民体育大会 四国ブロック大会突破率

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
静岡	埼玉	岡山	兵庫	秋田	大分	新潟	千葉	山口	岐阜
22.6%	21.0%	17.6%	19.5%	18.4%	18.2%	20.1%	16.6%	16.9%	22.4%

静岡国体(H15)、埼玉国体(H16)は、平成14年に本県で開催した「よさこい高知国体」の強化事業等による競技力の維持もあり、30位台の成績であったが、岡山国体(H17)以降は40位台後半と下位に低迷している。

(2) 競技力向上のためのサポート体制の充実

① 目指す姿

- スポーツ医・科学の活用による健康状態の把握やトレーニング方法の改善により、本県の競技選手が国民体育大会や各種全国大会等で活躍している。
- サポート体制の整備により、本県の競技選手が効果的な支援を受けられるようになり、万全の健康状態で競技会に臨んでいる。

② 現 状

■本県のスポーツ医・科学の活用状況について

- ・国民体育大会の強化指定選手の健康管理等のサポートのため、少年種別を対象にメディカルチェック^{*16}を実施している。(受診率 H24 : 92.3%) (P15 表参照)
- ・メディカルチェックの受診から国民体育大会までの期間が短いため、データを競技力の向上に生かしきれていない。

■本県の競技選手のサポート体制について

- ・競技力の向上に向けてスポーツ医・科学、栄養等の関係団体と連携して取り組んでいる競技団体は少ない。
- ・体力を客観的に評価し、効果的なトレーニング方法を実施するため、国民体育大会の強化指定選手や競技選手等の専門体力測定を実施している。
- ・指導者が県内で医・科学、栄養、メンタル等に関する研修を受ける機会はあるが、受講者に固定化傾向が見られる。
(H24 : 9 回/県体育協会主催)

【県教育委員会調べより】

③ 取組目標

競技力向上のためのサポート体制の充実を目指し、スポーツ医・科学、栄養、メンタル面等の関係団体との連携を図り、医・科学、栄養面の重要性や健康管理等への意識を高める。そうした取組により、競技選手の健康管理等のサポート体制を整備し、競技力の向上を図ることを目標とする。

④ 取組の方向性

■スポーツ医・科学の活用により、競技力向上に向けたサポート体制の充実を図る

- ・メディカルチェックの推進及びデータの活用
- ・スポーツ医・科学測定器の有効活用
- ・専門体力測定の必要性の周知

成果指標：国民体育大会選手・強化指定選手を対象とするメディカルチェックの受診率が100%になるとともに、専門体力測定の新規受診者が増加する。

■スポーツ関係団体との連携・協働により、サポート体制の充実を図る

- ・スポーツ医・科学、栄養、メンタル面等の研修会、講習会の実施
- ・スポーツ医・科学、栄養、メンタル面等について関係団体との連携を図り、専門家の派遣等を含むサポート体制の検討及び実施

成果指標：競技力の向上に向け、スポーツ関係団体と連携して取り組む競技団体数が増加する。

■国民体育大会選手・強化指定選手を対象としたメディカルチェック受診率の推移

(出典：県教育委員会調べ)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
受診率	83.2%	91.4%	73.6%	70.5%	76.7%	76.1%	81.7%	85.7%	92.3%

■スポーツ関係団体におけるメディカル・コンディショニング資格取得者

(出典：公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者登録数 平成24年10月1日現在)

団体名	スポーツ指導者資格及び取得人数
高知県スポーツドクター協議会	公益財団法人日本体育協会公認スポーツドクター：68名
高知県アスレチックトレーナー協議会	公益財団法人日本体育協会公認アスレチックトレーナー：6名
高知県スポーツ栄養士研究会	公益財団法人日本体育協会公認スポーツ栄養士：1名 ※管理栄養士：23名、栄養士：2名(県教育委員会調べ)

3. 生涯スポーツの推進

(1) 地域におけるスポーツ活動の推進

① 目指す姿

- 地域全体で運動・スポーツ活動の推進が図られ、住民が主体的にスポーツ活動を行っている。
- それぞれの地域でスポーツ団体が活性化され、住民のニーズに応じたスポーツ活動が展開されている。
- 関係部局間の連携が進み、健康やスポーツに関する活動や地域住民のニーズに応じたスポーツ関連事業が効果的に提供されている。

② 現 状

■ 本県のスポーツ実施率等について

- ・ 本県における成人のスポーツ実施率（週1回以上運動やスポーツを実施している人の割合）は、向上傾向にある。
実施率（H11：38%、H18：41%、H21～24：平均56%）（P17グラフ参照）
- ・ 市町村のスポーツ振興計画について、独自の計画を策定しているのは4市。総合計画や教育行政方針の中にも含めているのは17市町村で、合わせて62%となっている。（P30生涯①参照）
- ・ スポーツ活動の情報は、広報誌やホームページ等で地域住民に伝えられている。

■ スポーツ団体が連携・協働したスポーツ大会等について

- ・ 県では、「県民スポーツの日^{※17}」及び「県民総スポーツ強調月間^{※18}」を中心に、スポーツへの関心と理解を深めるため、スポーツ団体が連携した大会を開催しているが、参加者や開催種目は固定化傾向にある。（P31④参照）
「高知県スポーツ・レクリエーション大会」（H24：実施種目＝15種目 参加者1,352名）
「県民スポーツフェスティバル」（H24：実施種目＝24種目 参加者2,488名）
「こうちシニアスポーツ交流大会」（H24：実施種目＝18種目 参加者1,292名）
- ・ 総合型地域スポーツクラブでは、地域の特性を生かしたイベントや多世代が交流できるクラブ間交流大会を開催している。（H24：4交流大会 参加者784名）

■ 県・市町村における関係部局間の健康づくりに関する取組について

- ・ 県では、「日本一の健康長寿県構想^{※19}」を掲げ、スポーツ健康教育課、生涯学習課、健康長寿政策課、高齢者福祉課、障害保健福祉課（3部局、5課）が、健康やスポーツに関わる事業に取り組んでいる。
【県教育委員会調べより】

③ 取組目標

地域におけるスポーツ活動の推進を目指し、県、市町村及びスポーツ団体等が連携し、スポーツ推進体制の整備やスポーツ活動機会の充実を図る。

そうした取組により、県民の運動・スポーツへの意識が高まり、自己のニーズに応じて、スポーツへ参加する機会が増加し、スポーツ実施率が向上することを目標とする。

④ 取組の方向性

■県、市町村が連携してスポーツ推進体制を整備し、県民の運動・スポーツに関する意識の向上を図る

- ・地域におけるスポーツの活動状況を把握するための調査研究等の実施
- ・地域の実情に即したスポーツ推進計画、よさこい健康プラン 21 の推進
- ・地域住民の運動・スポーツへの意識や活動意欲の向上に繋がる情報の提供

成果指標：県民の運動・スポーツへの意識や活動意欲の向上により、スポーツ実施率が向上する。

■スポーツ団体との連携・協働を推進することにより、スポーツ活動機会の充実を図る

- ・スポーツ団体の連携・協働による大会・教室の開催
- ・新しい公共^{※20}の理念と活動能力を持つスポーツ団体の育成・支援
- ・ライフステージに応じた運動・スポーツへの参加機会の提供

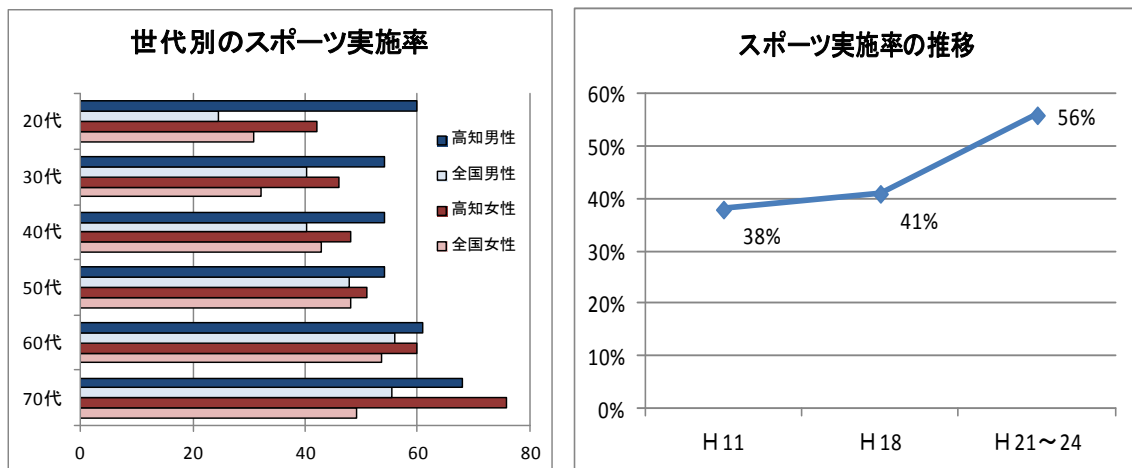
成果指標：スポーツ団体の連携・協働により、地域住民のニーズに応じたスポーツ活動機会が増加する。

■県、市町村の関係部局間連携の充実・発展により、健康やスポーツに関する活動の機会を支援する

- ・関係部局による健康やスポーツに関する連携及び継続的な事業の実施
- ・健康づくりやコミュニティづくりに繋がる多様な事業の提供

成果指標：関係部局が連携することにより、健康やスポーツに関する事業が増加する。

■ライフステージにおけるスポーツ実施率 (出典：「体力・運動能力調査」県教育委員会より)



※高知県はH21~24の平均値 全国はH23の値を使用

スポーツ活動の習慣化のめやすとなるスポーツ実施率(週1回以上運動やスポーツを実施している人の割合)は、平成11年から18ポイント、平成18年から15ポイント高くなっている。

男性は働き盛りの30代~50代、女性は20代~40代の実施率が低く、スポーツへの参加を促進する取組が求められる。

(2) 地域におけるスポーツ環境の充実

① 目指す姿

- 地域住民が、身近に運動・スポーツに取り組むことのできるスポーツ施設等が整備されている。
- 地域住民のニーズに応じた活動ができるスポーツ指導者が確保されている。
- 地域住民が、その地域の仲間と一緒に日常的にスポーツ活動を行っている。
- 地域の特性を生かしたプログラムやスポーツツーリズムを目指したイベントが開催され、地域住民がスポーツを「する」「みる」「支える」活動が広がっている。

② 現 状

■ 地域住民の日常的なスポーツ活動の場所について

- ・ 県立学校においては、27校 50施設で学校体育施設の開放を行っている。(P32⑥⑦参照)
開放率 H23：県立学校(54%) [現在実施可能な学校の開放率は100%]
- ・ 市町村においては、全市町村で学校開放に取り組んでいる。
開放率 H23：公立小学校(92%)、中学校(86%)
- ・ 休校・廃校が増加し、学校開放施設数は減少傾向にある。
10年間(H15～24)の休校・廃校数：小学校 84校、中学校 14校、高等学校 3校
特別支援学校 1校

■ 地域のスポーツ指導者の確保について

- ・ スポーツ推進委員は、地域のスポーツイベントや行事等の企画・立案・運営等で活動している。
一部の市町村では年齢や性別に偏りがあり、役割が限定されている場合もある。
県内スポーツ推進委員総数 (H24：464名)
- ・ 健康運動指導士等の健康づくりのための有資格指導者は、高知市とその周辺に集中しており、中山間地域で活動できる有資格指導者が少ない。

■ 地域のスポーツ団体について

- ・ 総合型地域スポーツクラブは、県内 24市町村に 32クラブが設立されている。地域のコミュニティの核としての機能を果たしているクラブもあり、地域住民のニーズに応じた活動が行われている。(会員総数 H21：5,864名 H22：6,497名 H23：8,327名) (P19表参照)
- ・ 人口規模や高齢化、過疎化の影響から総合型地域スポーツクラブの設立が困難な地域もある。

■ 全国規模のスポーツ大会の開催について

- ・ 平成 20・24年度に「日本スポーツマスターズ大会」、平成 24年度に「高知龍馬マラソン」、平成 25年度に「ねんりんピック」といった全国規模の大会を開催するなど、交流人口の拡大に努めるとともに、高知県の魅力を全国に発信している。
日本スポーツマスターズ 2012 高知大会 選手・監督：7,904名 ボランティア：2,793名
高知龍馬マラソン 2013 参加者：3,475名 ボランティア：約 1,800名
【県教育委員会調べより】

③ 取組目標

地域におけるスポーツ環境の充実を目指し、総合型地域スポーツクラブや地域のスポーツ団体の育成・支援及びスポーツ指導者・スポーツ施設の充実を図る。また、地域住民のニーズに応じたプログラムの提供やスポーツツーリズムを推進する。

そうした取組により、地域住民のスポーツを「する」「みる」「支える」活動への参加機会が向上することを目標とする。

④ 取組の方向性

■身近な学校体育施設や公共施設の開放等により、地域住民の利用を促進する

- ・学校体育施設、公共スポーツ施設の有効活用に向けた取組の推進
- ・身近にスポーツ活動ができる公共施設の整備及び地域の実情に即した利用促進への支援

成果指標：地域住民が身近に運動・スポーツに取り組むことのできる場が増加する。

■地域人材の有効活用、地域住民のニーズに応じたスポーツ指導者の養成により、指導者の確保を図る

- ・スポーツ推進委員の積極的活用（地域のスポーツ振興のための連絡調整やスポーツに関する指導及び助言等）
- ・地域住民のニーズに応じることのできる専門的指導者の養成及び研修会の開催
- ・スポーツ活動の推進に貢献した方への顕彰制度の充実

成果指標：地域住民のニーズに応じたスポーツ指導を實踐できる指導者が増加する。

■地域のスポーツ団体（総合型地域スポーツクラブ、体育（協）会等）の育成・支援により、日常的なスポーツ活動への参加を促進する

- ・地域のスポーツ団体が行うスポーツ活動への支援
- ・障害のある人もない人もともに運動・スポーツ活動ができるクラブ・サークルの育成

成果指標：地域に運動・スポーツを実施するクラブ・サークル数が増加する。

■地域の特性を生かしたプログラムやスポーツツーリズムを目指したイベントの開催により、スポーツ活動への多様な参加を促進する

- ・高知の自然環境や地域の特性を生かしたプログラムやスポーツツーリズムの推進と支援

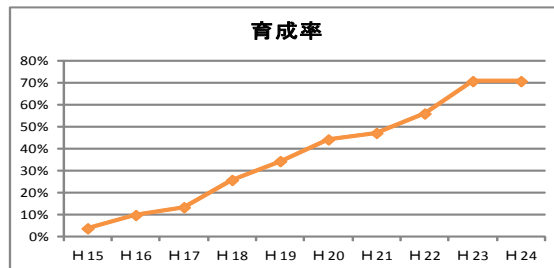
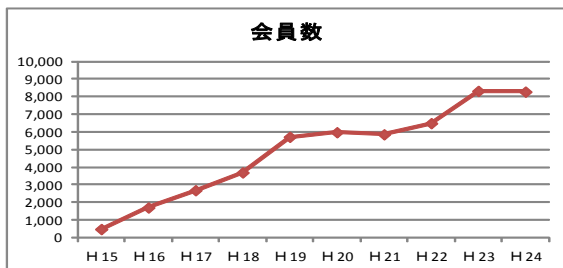
成果指標：スポーツを「する」「みる」「支える」活動で、スポーツに関わる人数が増加する。

■総合型クラブの育成状況（出典：県教育委員会調べ）

高知県内総合型地域スポーツクラブの育成状況

（各年度7月1日時点の数値）

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
クラブ数	2	5	7	11	19	27	30	31	32	32
会員数	490	1713	2692	3702	5724	5983	5864	6497	8327	8285
育成率	3.8%	9.8%	13.3%	25.7%	34.3%	44.1%	47.1%	55.9%	70.6%	70.6%



※育成率＝クラブ育成市町村数／全市町村数

県では、県内全市町村において、少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブの設立を目標に取り組み、現在24市町村、32クラブが設立し、8,000人を超す会員が各地で活発に活動している。

第4章 計画の推進と進捗管理

1. 計画推進の考え方

子どもから高齢者まで、また、障害のある人もない人も、すべての県民が、ライフステージに応じて、日常的にスポーツを「する」「みる」「支える」という活動に、それぞれの立場で積極的に参加するとともに、互いに協働することによって県民総参加でこの計画を推進します。

そのためにも「よさこい健康プラン21」をはじめとする日本一の健康長寿県づくりの取組等との関連を重視しつつ、県をはじめ、市町村、スポーツ関係団体、企業等がそれぞれの立場で積極的に関わるとともに連携・協働を図ります。

2. 推進組織と進捗状況の管理

知事を会長とする「生涯スポーツ推進県民会議^{※21}」の下部組織である「生涯スポーツ推進協議会^{※22}」が中心となり、スポーツ関係機関・団体と連携を図りつつ推進していきます。具体的には「生涯スポーツ推進協議会」を定期的を開催し、計画の進捗状況を把握するとともに、必要な見直しと改善を図ることにより、次年度の取組に生かします。

また、「高知県スポーツ推進審議会^{※23}」においても、計画の進捗状況を報告し、計画の推進に努めます。

3. 市町村との連携

市町村においては、地域住民が運動・スポーツに親しむことができるようなスポーツイベントの開催や、スポーツ団体への支援又は協働によるスポーツ機会の提供など、地域のニーズに応じたスポーツ活動の推進に取り組むことが期待されます。

県は、市町村で行うことが困難な広域的な事業を実施するなど、市町村との役割分担を踏まえながら連携・協働し、県全体における総合的なスポーツの推進を図ります。

4. スポーツ団体等との連携

県内には、多くのスポーツ団体が存在しており、それぞれの目的に沿って、自主的な活動を行っています。

県は、その自主性を重視しつつ、スポーツ団体がもつスポーツの普及や競技水準の向上に果たす役割を踏まえながら連携・協働を図ります。

5. 企業等との連携

県内の企業は、地域貢献活動として、様々なスポーツイベント等を開催・支援しています。

県は、企業や地域の様々な団体の持つスポーツ資源を効果的に活用することにより、スポーツを地域の観光資源とする取組（スポーツツーリズム）を進めるなど、企業等との連携・協働を図ります。

参考資料 目次

■用語解説	2 2
■スポーツ基本法（抜粋）	2 4
■スポーツ基本計画（抜粋）	2 4
■参考データ集	
【子どもの体力の向上】	2 5
① 運動部やスポーツクラブへの加入率	
② 運動やスポーツの実施状況	
③ 運動やスポーツの実施時間	
④ 運動やスポーツに対する好き・嫌い	
⑤ 運動やスポーツに対する得意・不得意	
⑥ 朝食と体力合計点のクロス集計（全国との比較）	
⑦ 睡眠時間と体力合計点のクロス集計（全国との比較）	
⑧ 運動やスポーツの実施時間と体力合計点のクロス集計（全国との比較）	
⑨ 【小学生】運動やスポーツの実施状況と体力合計点のクロス集計（全国との比較）	
⑩ 【中学生】運動やスポーツの実施状況と体力合計点のクロス集計（全国との比較）	
【競技力の総合的な向上】	3 0
① 国民体育大会競技別獲得得点	
② 全国中学校体育大会入賞数（ベスト8以上）	
③ 全国高等学校総合体育大会入賞数（ベスト8以上）	
【生涯スポーツの推進】	3 0
① 市町村のスポーツ振興計画に関する状況	
② 体育会（体育協会）の活動状況	
③ 総合型地域スポーツクラブの活動状況	
④ 高知県スポーツ・レクリエーション大会及び県民スポーツフェスティバルの状況	
⑤ 有資格指導者の状況	
⑥ 県立学校体育施設の開放状況	
⑦ 公立小・中学校体育施設の開放状況（H23）	
■高知県スポーツ推進審議会委員名簿	3 3
■生涯スポーツ推進協議会委員名簿	3 4
■プラン作成委員会委員名簿	3 4

用語解説

※1 とさのスポーツプラン（平成14年2月策定）

生涯にわたり県民の健康・スポーツを計画的・総合的に推進するための高知県生涯スポーツ振興計画（平成14年～平成23年）のこと。

※2 高知県教育振興基本計画（平成21年9月策定）

高知県の教育の振興のための施策に関する計画のこと。

※3 第3期高知県健康増進計画 よさこい健康プラン21

乳幼児から高齢者まで生涯を通じた県民の健康づくりに取り組むことにより「健康寿命の延伸」を図り「健康格差の縮小」を実現することを目的とした計画（平成25年度～平成29年度）のこと。

※4 総合型地域スポーツクラブ

人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、(1) 子どもから高齢者まで（多世代）、(2) 様々なスポーツを愛好する人々が（多様目）、(3) 初心者からトップレベルまでそれぞれの嗜好レベルに合わせて参加できる（多志向）、という3つの特徴を持ち、地域住民により自主的、主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

※5 スポーツ推進委員

市町村におけるスポーツの推進のため、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う者のこと。

※6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

子どもの体力が低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析し、体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に文部科学省が実施している調査のこと。

※7 幼児期運動指針

運動習慣の基盤づくりを通して幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性、創造性などを育むことを目指し、幼児期の運動の在り方について公表された指針のこと。（平成24年3月「文部科学省」）

※8 スポーツ医・科学

運動・スポーツ活動を生理学的、生体力学的、心理学的、栄養学的、病理学的な面からとらえ研究する学問であり、これらの知識や研究成果を運動・スポーツの現場に応用し、肉体的な動きや運動・スポーツ活動の機能的能力の増進維持、競技力の向上を図る。

また、運動・スポーツを健康の保持増進、疾病予防、治療に役立てるとともに、運動・スポーツを行うことにより生じる外傷・傷害の予防、治療、リハビリテーションを行う。

※9 健康運動指導士

保健医療関係者と連携しつつ安全で効果的な運動を実施するための運動プログラム作成及び実践指導計画の調整等を行う役割を担う者のこと。

※10 スポーツツーリズム

スポーツを「する」「みる」「支える」ための旅行やこれらと周辺地観光を組み合わせた旅行のほか、旅行者が全国どこでもスポーツに親しめるような環境の整備や提供も含まれる。

※11 学校保健委員会

学校における健康の問題を研究協議し、健康づくりを推進する組織のこと。

※12 生活ふりかえり票

朝食の摂取や排便の有無など生活習慣の改善のために児童が1日の振り返りを行う教材のこと（高知県教育委員会実施）。

※13 男女総合成績（天皇杯）

各競技の種別、種目において第1位から第8位までの都道府県に与えられる「競技得点」と各競技ごとに大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に与えられる「参加得点」の男女の得点を合計したものを男女総合成績とし、天皇杯を授与する。

※14 女子総合成績（皇后杯）

各競技の種別、種目において第1位から第8位までの都道府県に与えられる「競技得点」と各競技ごとに大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に与えられる「参加得点」の女子の得点を合計したものを女子総合成績とし、皇后杯を授与する。

※15 お家芸競技

全国の競技大会において入賞を繰り返すなど、本県が得意とする競技のこと。

※16 メディカルチェック

競技者が運動を行うに当たっての健康診断で、健康管理のみならずスポーツ傷害の予防のために行う内科的、整形外科的検査のこと。

※17 県民スポーツの日（昭和52年3月20日制定）

10月の第1日曜日。県民みんなが、スポーツに対する理解と関心を深め、「1人1スポーツ」をテーマとし、運動やスポーツに親しみ、スポーツの日にふさわしい実践活動をくりひろげることを目的に定めた日のこと。

※18 県民総スポーツ強調月間（昭和52年3月20日制定）

スポーツの秋にふさわしい10月を特に“みんなのスポーツ”を高揚するため強調月間としてとりあげ、暮らしの中に生かされたスポーツ活動や各種のスポーツ行事を展開し、健全な精神を育み、明るく活力に満ちた地域社会の発展を図ることを目的に定めた月のこと。

※19 日本一の健康長寿県構想

県民が健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことができる高知県を目指して、保健、医療、福祉の各分野の取組をとりまとめた構想のこと。

※20 新しい公共

「支え合いと活気のある社会」を作るための当事者たちの「協働の場」であり、「県民、市民団体や地域組織」、「企業」、「行政」等が、一定のルールとそれぞれの役割を持って当事者として参加し、協働するもの。

※21 生涯スポーツ推進県民会議

高知県内における生涯スポーツ振興をめざし、体育・スポーツ・レクリエーションについて広く県民意識を啓発し、併せて日常生活での実践、継続化を強力に推進するために設置された組織のこと。会長は知事で、主な業務の一つに、生涯スポーツ推進計画の策定及び普及振興に関することがある。

※22 生涯スポーツ推進協議会

生涯スポーツ推進県民会議の下部組織で、体育・スポーツ・レクリエーション関係機関及び団体の代表者並びに学識経験者等で組織されている。主な業務の一つに、生涯スポーツ推進計画の策定に関することがある。

※23 高知県スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第31条に規定する合議制の機関で、学校体育又はスポーツに関する団体の役職員、市町村関係団体の役職員、学識経験を有する者で構成されている。地方スポーツ推進計画の策定及び変更に関することをはじめ、スポーツの推進に関し必要な事項について、調査審議し当該事項に関して教育委員会又は知事に建議することを任務としている。

■スポーツ基本法（抜粋）【平成 23 年 6 月制定】

前文 スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である

総則

基本理念

- ①スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、国民が生涯にわたりあらゆる機会と場所において、自主的・自律的に適性や健康状態に応じてスポーツを行うことができるようにする
- ②青少年のスポーツが国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動を相互に連携
- ③地域において、主体的に協働することによりスポーツを身近に親しむことができるようにするとともに、スポーツを通じて、地域の全ての世代の人々の交流を促進し、交流の基盤を形成
- ④スポーツを行う者の心身の健康の保持増進、安全の確保
- ⑤障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進
- ⑥我が国のスポーツ選手（プロスポーツの選手を含む。）が国際競技大会等において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進
- ⑦スポーツに係る国際的な交流及び貢献を推進することにより、国際相互理解の増進及び国際平和に寄与
- ⑧スポーツを行う者に対する不当な差別的取扱いの禁止、スポーツに関するあらゆる活動を公正かつ適切に実施することを旨として、スポーツに対する国民の幅広い理解及び支援が得られるよう推進

基本的施策

施策①スポーツの推進のための基礎的条件の整備等

施策②多様なスポーツの機会の確保のための環境の整備

施策③競技水準の向上等

■スポーツ基本計画（抜粋）【平成 24 年 3 月策定】

「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」

目指す具体的な社会の姿

- ①青少年が健全に育ち、他者との協同や公正さと規律を重んじる社会
- ②健康で活力に満ちた長寿社会
- ③地域の人々の主体的な協働により、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会
- ④国民が自国に誇りを持ち、経済的に発展し、活力ある社会
- ⑤平和と友好に貢献し、国際的に信頼され、尊敬される国

今後 10 年間を見通したスポーツ推進の基本方針

政策課題

「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」

政策目標

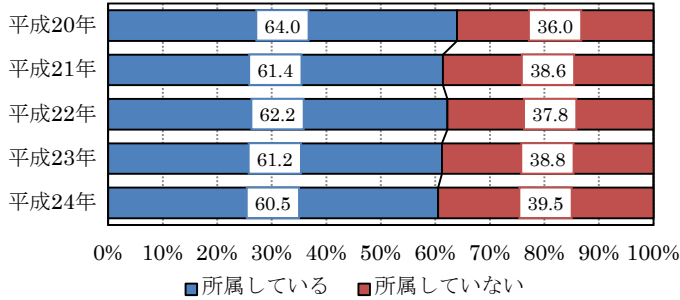
- ①子どものスポーツ機会の充実
- ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- ⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進
- ⑥スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ⑦スポーツ界の好循環の創出

■参考データ集

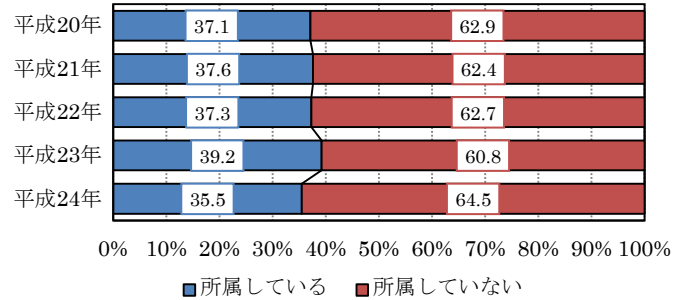
【子どもの体力の向上】

① 運動部やスポーツクラブに入っていますか。(スポーツ少年団を含みます)

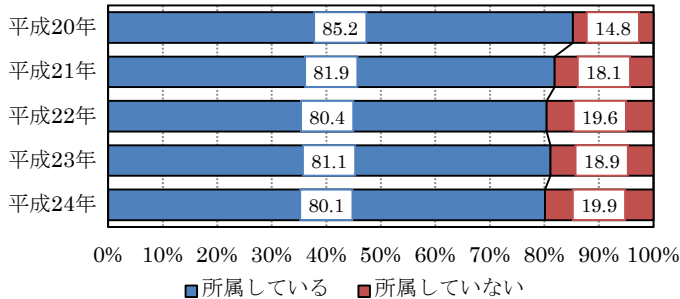
【小学生男子：高知県】



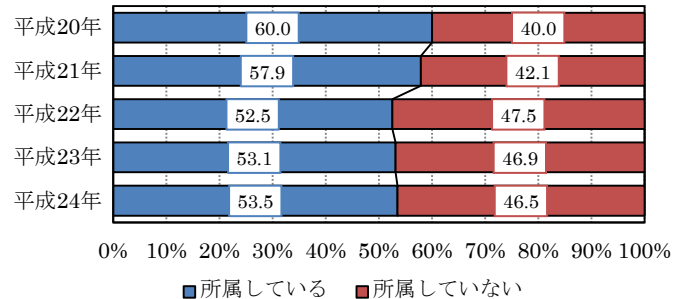
【小学生女子：高知県】



【中学生男子：高知県】

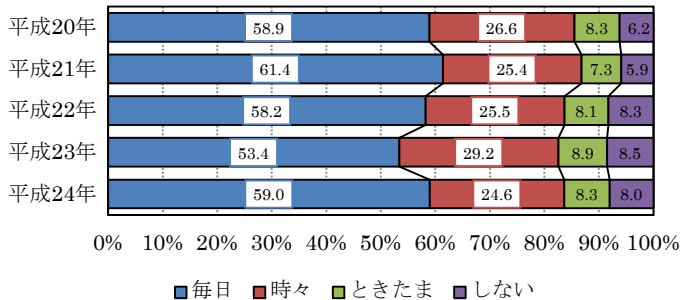


【中学生女子：高知県】

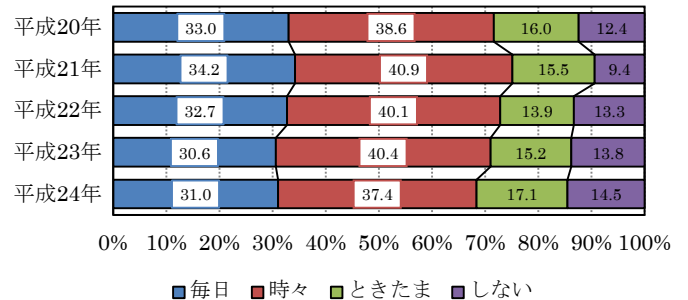


② 運動やスポーツをどのくらいしていますか。(学校の体育の授業をのぞきます)

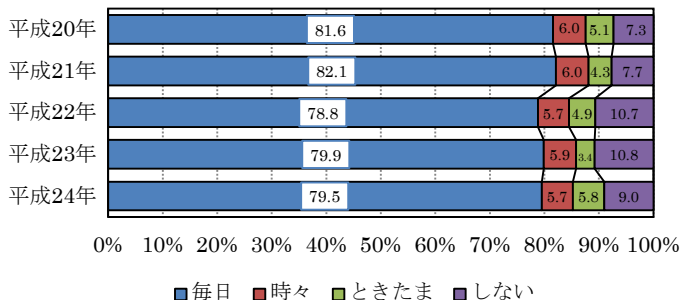
【小学生男子：高知県】



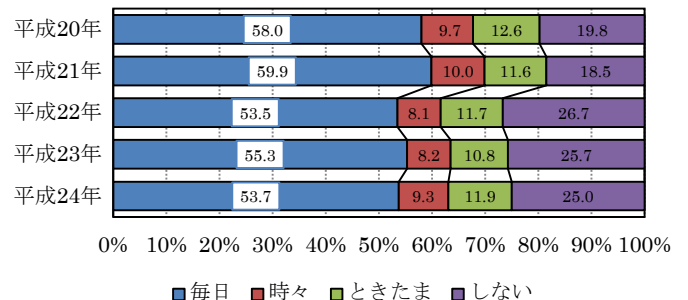
【小学生女子：高知県】



【中学生男子：高知県】

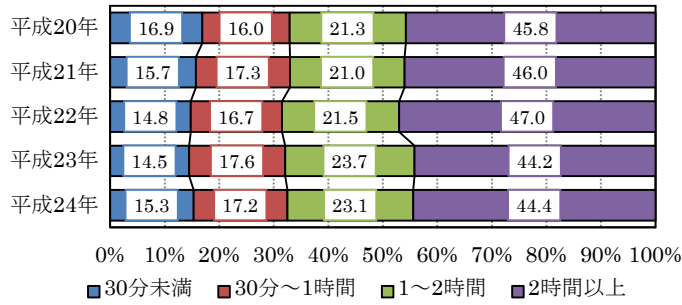


【中学生女子：高知県】

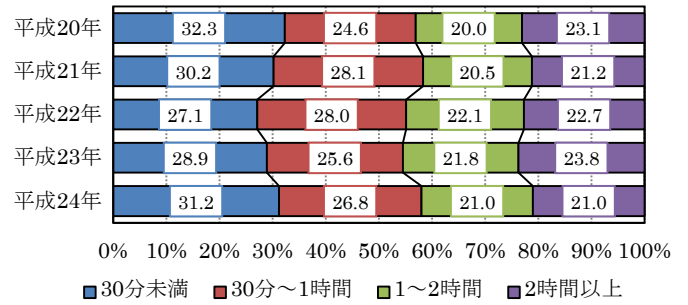


③ 運動やスポーツをするときは、1日にどのくらいの時間しますか。(学校の体育の授業をのぞきます)

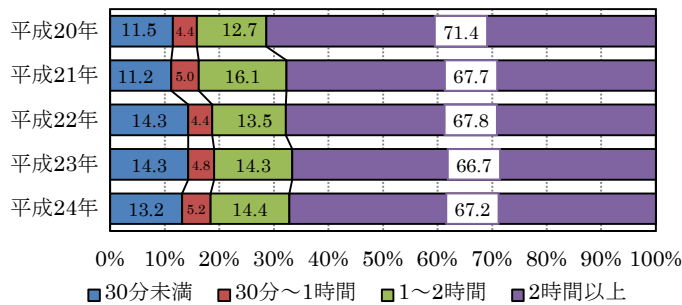
【小学生男子：高知県】



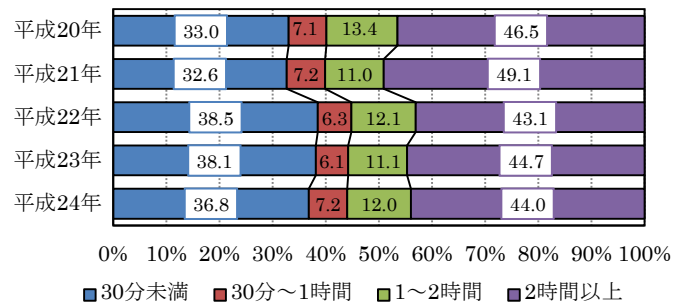
【小学生女子：高知県】



【中学生男子：高知県】

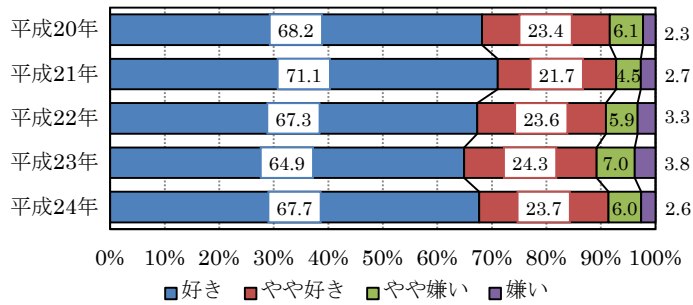


【中学生女子：高知県】

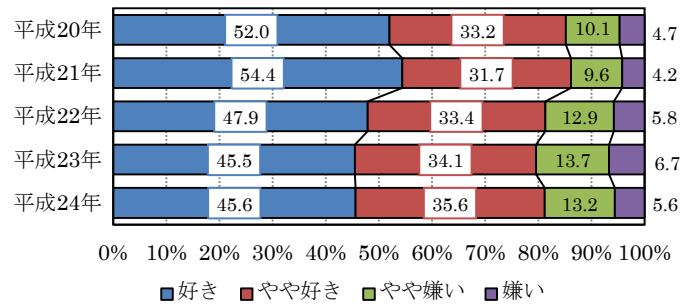


④ 運動やスポーツをすることは好きですか。

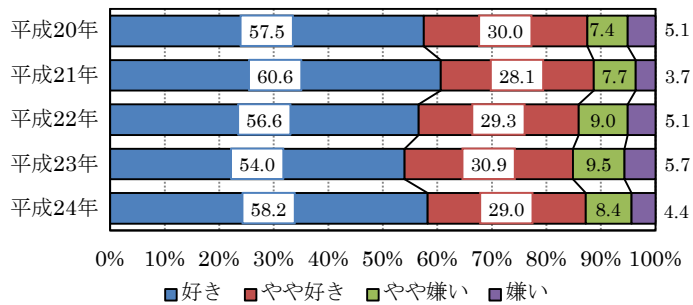
【小学生男子：高知県】



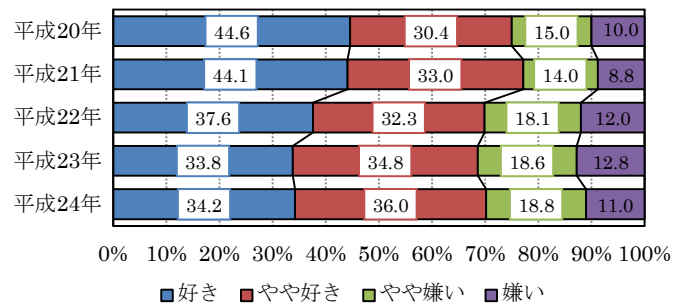
【小学生女子：高知県】



【中学生男子：高知県】

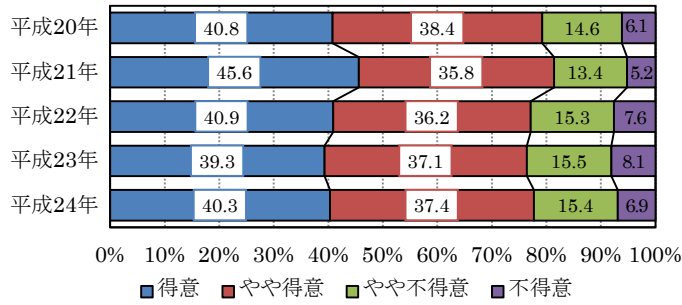


【中学生女子：高知県】

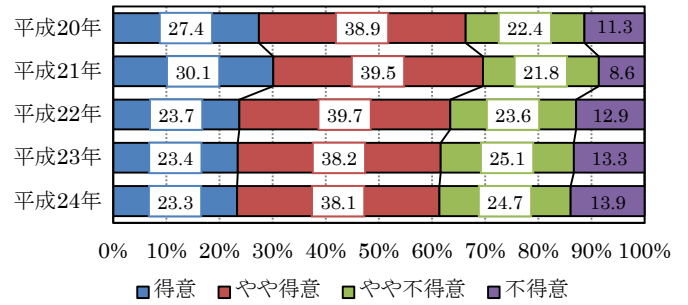


⑤ 運動やスポーツをすることは得意ですか。

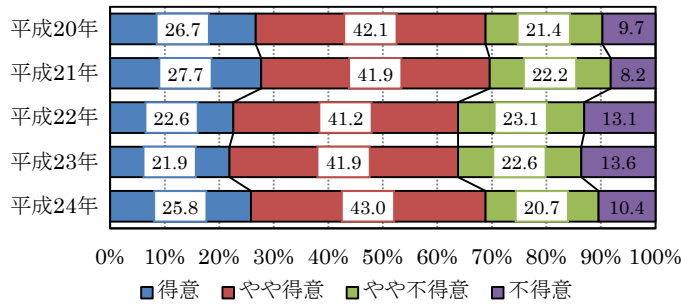
【小学生男子：高知県】



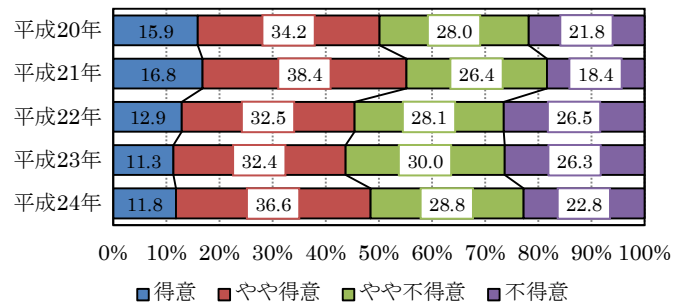
【小学生女子：高知県】



【中学生男子：高知県】

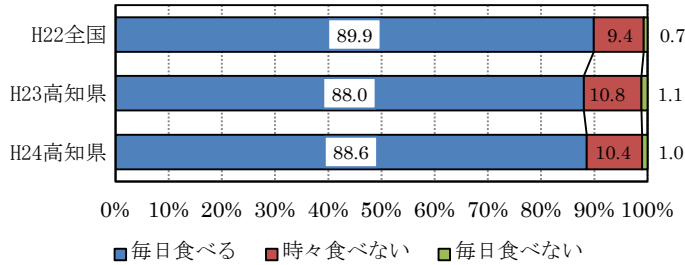


【中学生女子：高知県】

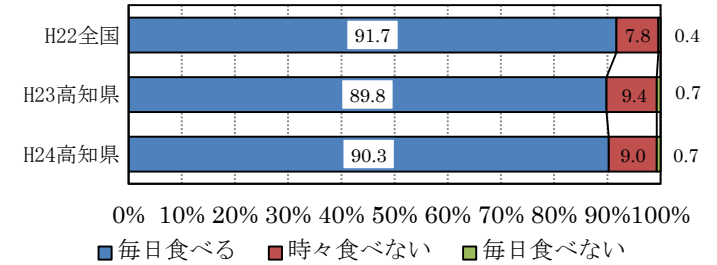


⑥ 朝食は食べますか。

【小学生男子】

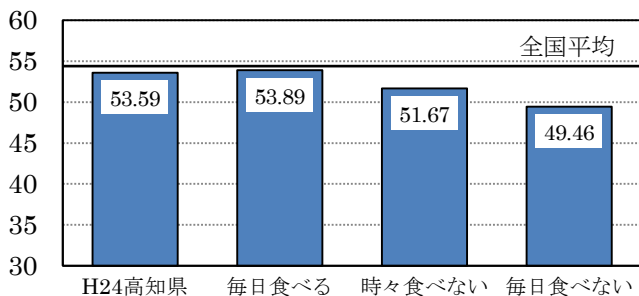


【小学生女子】

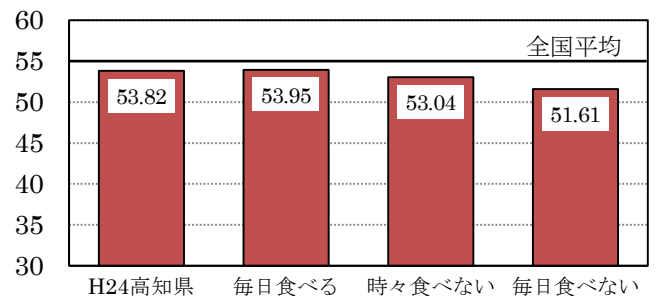


●体力合計点クロス集計

【小学生男子】

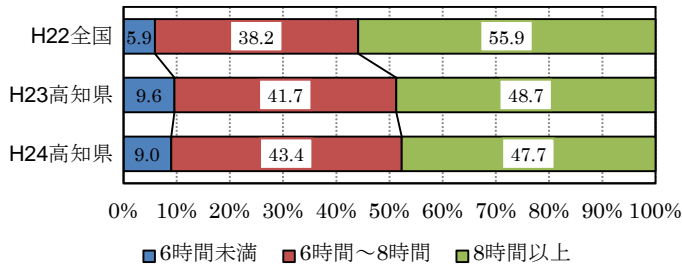


【小学生女子】

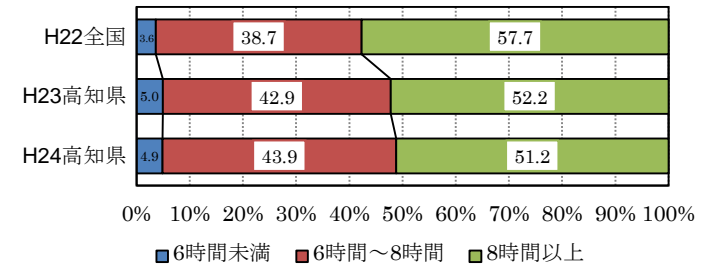


⑦ 1日の睡眠時間

【小学生男子】

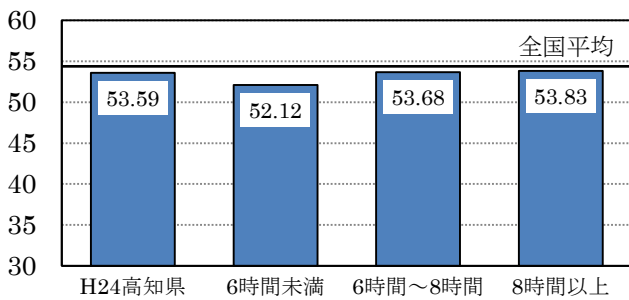


【小学生女子】

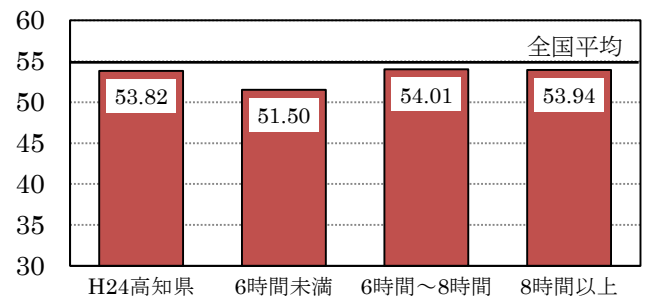


●体力合計点クロス集計

【小学生男子】

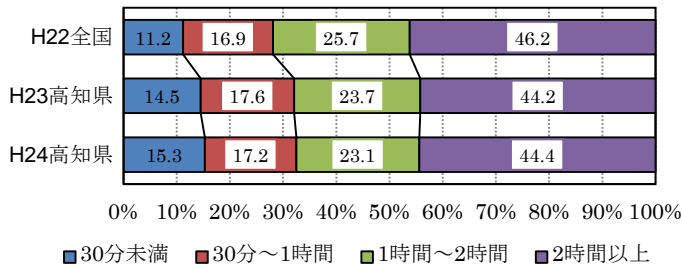


【小学生女子】

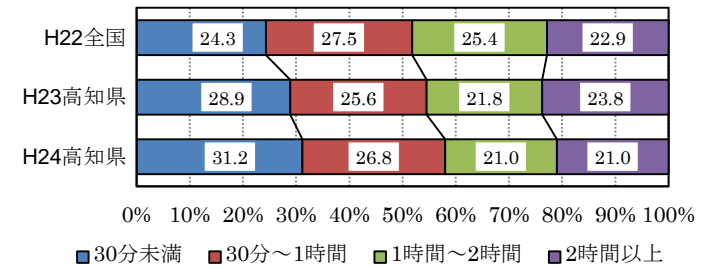


⑧ 運動やスポーツをするときは、1日にどのくらいの時間しますか。(学校の体育の授業をのぞきます)

【小学生男子】

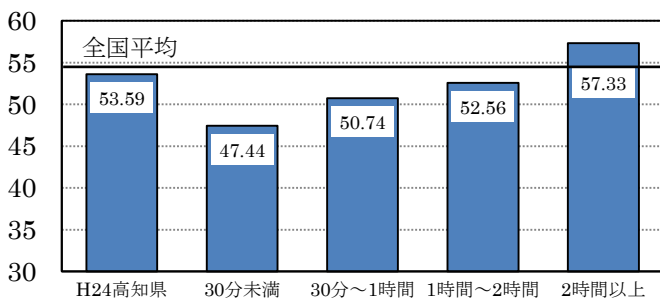


【小学生女子】

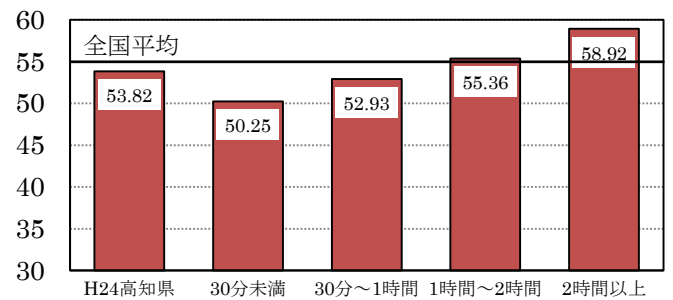


●体力合計点クロス集計

【小学生男子】

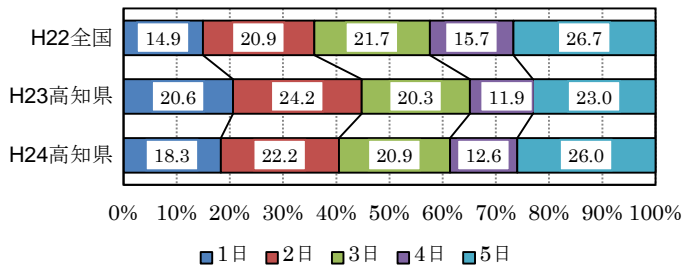


【小学生女子】

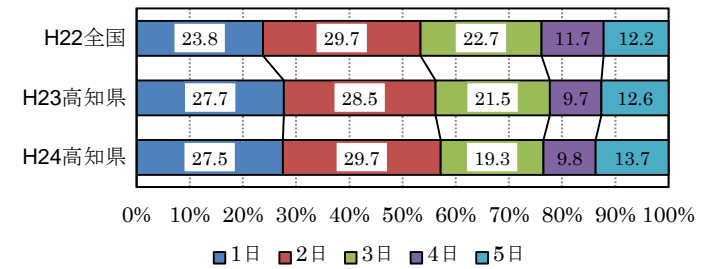


⑨ 運動をしていると答えた人は、平日(月曜日から金曜日)では、平均して何日、運動やスポーツをしていますか。(学校の体育の授業を除く)

【小学生男子】

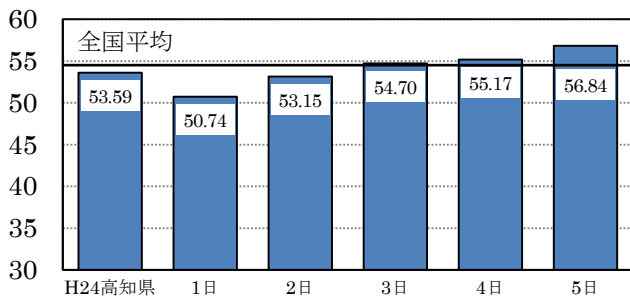


【小学生女子】

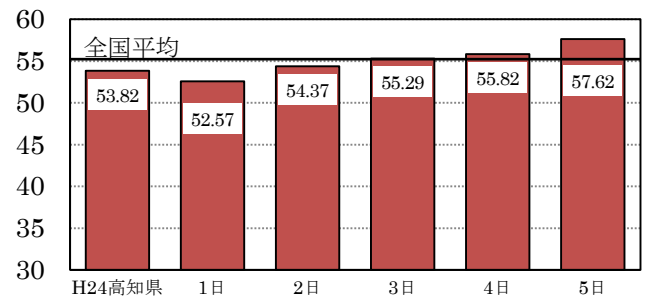


●体力合計点クロス集計

【小学生男子】

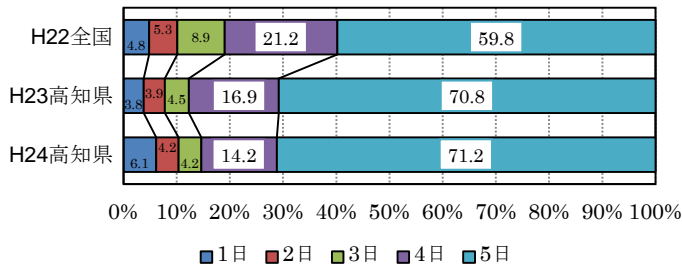


【小学生女子】

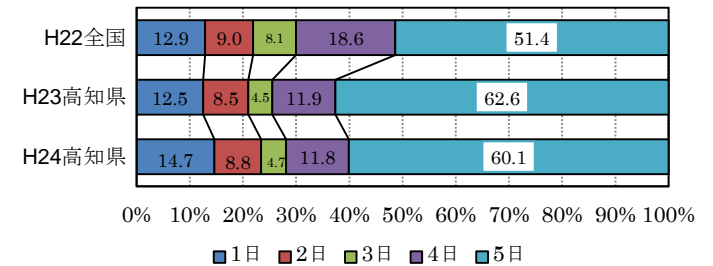


⑩ 運動をしていると答えた人は、平日(月曜日から金曜日)では、平均して何日、運動やスポーツをしていますか。(学校の体育の授業を除く)

【中学生男子】

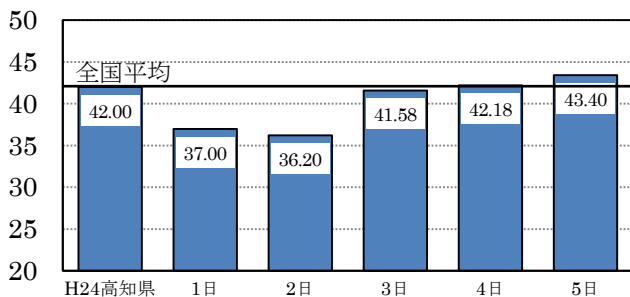


【中学生女子】

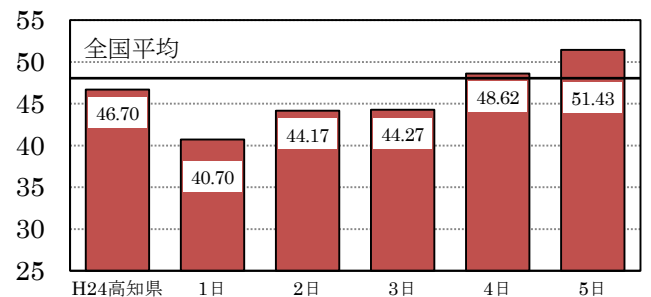


●体力合計点クロス集計

【中学生男子】

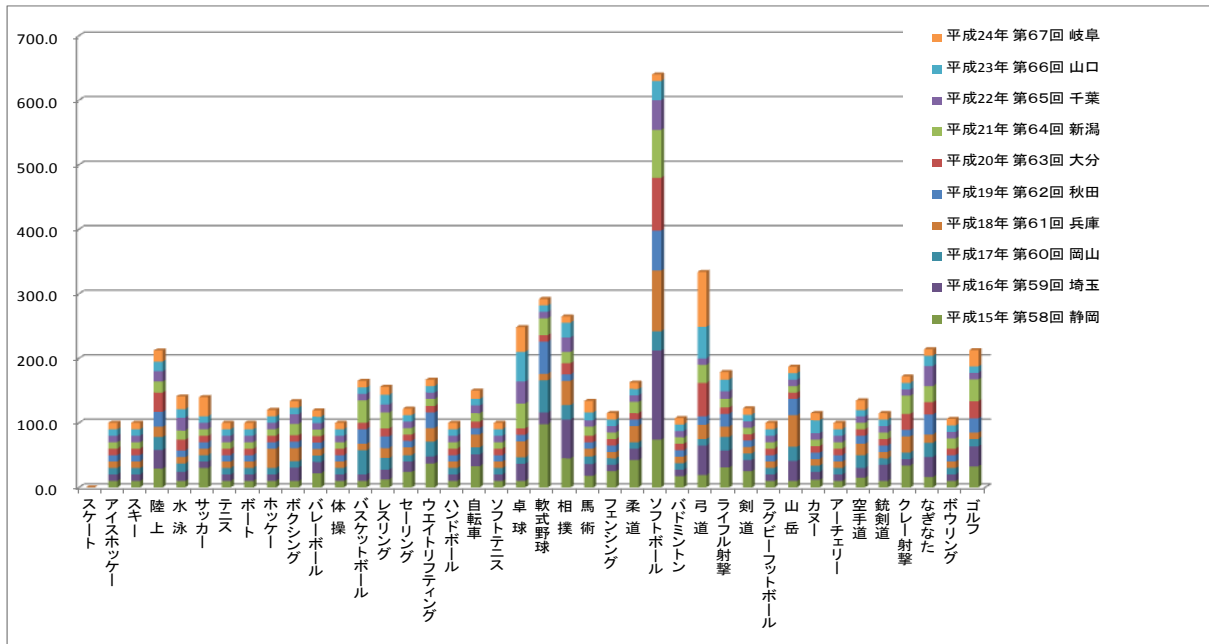


【中学生女子】



【競技力の総合的な向上】

① 国民体育大会競技別獲得得点



〔県教育委員会調べ〕

② 全国中学校体育大会入賞数（ベスト8以上）

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
北海道ブロック	関東ブロック	東海ブロック	四国ブロック	東北ブロック	北信越ブロック	九州ブロック	中国ブロック	近畿ブロック	関東ブロック
5競技4人4団体	4競技4人5団体	5競技5人4団体	7競技10人8団体	6競技2人7団体	6競技2人7団体	4競技2人5団体	7競技6人6団体	7競技10人7団体	6競技8人5団体

〔県教育委員会調べ〕

③ 全国高等学校総合体育大会入賞数（ベスト8以上）

H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
長崎	島根	千葉	近畿	佐賀	埼玉	奈良	沖縄	北東北	北信越
6競技14人1団体	5競技7人3団体	7競技3人6団体	6競技11人1団体	7競技5人2団体	10競技13人0団体	8競技8人4団体	4競技7人3団体	4競技9人3団体	4競技5人2団体

〔県教育委員会調べ〕

【生涯スポーツの推進】

① 市町村のスポーツ振興計画に関する状況

スポーツ振興計画

スポーツ振興計画の状況	市町村数	割合
スポーツに関する独自の計画を策定している	4	12%
市町村振興計画等の一部に含んでいる	17	50%
現在検討中	10	29%
作成予定なし	3	9%

〔平成24年度行政状況調査（平成24年12月）〕

② 体育会（体育協会）の活動状況

	市町村数	割合
従来の体育会（体育協会）として活動している	17	50%
総合型地域スポーツクラブの加盟団体として活動している	6	18%
体育会として活動している団体と、総合型地域スポーツクラブに加盟している団体で活動している	11	32%

種目・会員数

- 活動種目(上位10種目)
 - ・バレーボール(22)、バドミントン(21)、陸上競技(18)、ソフトボール(17)、野球(17)、スカッシュバレー(16)、卓球(13)、剣道(13)、グラウンド・ゴルフ(11)、ペタンク(11)
- 体育会で活動している人数の割合は、県民の2%である
 - ※県民数 757,752名（今回の調査で各市町村より提出された人口の総数）
 - ※体育会の総人数 15,623名
 - ※団体数888

[平成24年度行政状況調査（平成24年12月）]

③ 総合型地域スポーツクラブの活動状況

	クラブ数	割合	全国
NPO法人格を取得して活動しているクラブ	8	25.8%	15.9%
指定管理者であるクラブ	7	22.6%	4.3%
スポーツ振興くじ助成事業活用クラブ（H24）	22	68.8%	—

種目・会員数

- 活動種目(上位10種目)
 - ・バドミントン(21)、健康体操(20)、ヨガ(19)、バレーボール(18)、卓球(16)、ソフトボール(15)、野球(13)、テニス(13)、サッカー(12)、スカッシュバレー(10)
- 総合型地域スポーツクラブで活動している人数の割合は、県民の1.1%である
 - ※県民数 757,752名（今回の調査で各市町村より提出された人口の総数）
 - ※会員の総人数 8,285名
 - ※クラブ数32

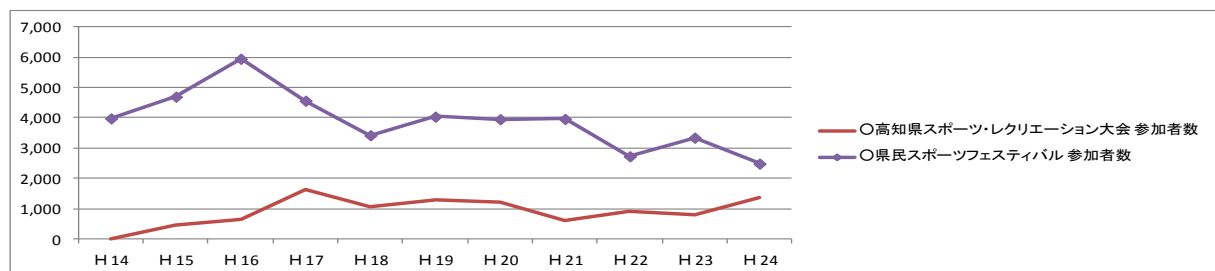
[平成24年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査（平成24年7月）]

④ 高知県スポーツ・レクリエーション大会及び県民スポーツフェスティバルの状況

大会参加者の推移

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
○高知県スポーツ・レクリエーション大会	参加団体数	—	9	9	14	11	11	15	12	15	16	15
	参加者数	—	444	648	1,634	1,073	1,291	1,201	600	900	800	1,352
○県民スポーツフェスティバル	種目数	28	34	35	35	34	32	32	33	29	29	24
	参加者数	3,982	4,698	5,951	4,565	3,425	4,039	3,955	3,962	2,730	3,345	2,488

参加者数の動向



[県教育委員会調べ]

⑤ 有資格指導者の状況

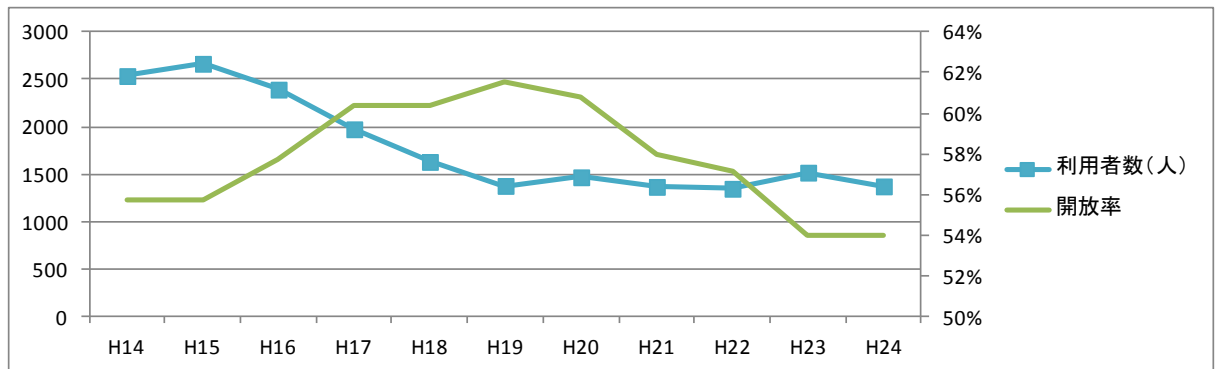
認定機関	資格名		県内人数	
	平成13年	平成24年(名称変更・追加等)	平成13年	平成24年
公益財団法人高知県体育協会	スポーツ栄養士	公益財団法人日本体育協会に移行	37	
公益財団法人日本体育協会	地域スポーツ指導者	指導員・上級指導員	525	601
	商業スポーツ施設指導者	教師・上級教師	4	7
	競技力向上指導者	コーチ・上級コーチ	87	107
	スポーツドクター	スポーツドクター	41	66
	アスレチックトレーナー	アスレチックトレーナー	1	6
		スポーツ栄養士		1
		フィットネストレーナー		2
		スポーツプログラマー	8	18
		少年スポーツ指導員	32	28
		アシスタントマネジャー		67
		クラブマネジャー		
	体カテスト認定員	体カテスト判定員	10	6
公益財団法人 日本レクリエーション協会	福祉・レクリエーションワーカー	福祉・レクリエーションワーカー	9	16
	グループレクリエーションワーカー	廃止	1	
	余暇生活開発士	余暇生活開発士	1	1
	余暇相談員	廃止	1	
	レクリエーション・コーディネーター	レクリエーション・コーディネーター	11	13
	レクリエーション・インストラクター	レクリエーション・インストラクター	1,258	646
公益財団法人 健康・体力づくり事業財団	健康運動指導士	健康運動指導士	38	38
	健康運動実践指導者	健康運動実践指導者	16	10

〔県教育委員会調べ〕

⑥ 県立学校体育施設の開放状況

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
学校数	52	52	52	53	53	52	51	50	49	50	50
開放校数	29	29	30	32	32	32	31	29	28	27	27
開放率	56%	56%	58%	60%	60%	62%	61%	58%	57%	54%	54%
利用団体	80	65	65	83	95	90	89	78	75	84	78
利用者数(人)	2,537	2,666	2,394	1,976	1,632	1,379	1,470	1,369	1,349	1,519	1,374

開放率と利用者数の動向



〔県教育委員会調べ〕

⑦ 公立小・中学校体育施設の開放状況 (H23)

校種	小学校								中学校							
	屋外運動場		体育館		水泳プール		屋外テニスコート		屋外運動場		体育館		水泳プール		屋外テニスコート	
施設状況	149	217	207	224	5	197	0	0	61	106	92	107	4	96	5	28
開放率	69%		92%		3%				58%		86%		4%		18%	

〔平成24年度行政状況調査(平成24年12月)〕

高知県スポーツ推進審議会委員名簿

役 職	氏 名	所 属・役 職
会 長	宮田 速雄	株式会社高知新聞社 代表取締役社長
副会長	稲田 俊治	国立大学法人高知大学 名誉教授
委 員	伊藤 篤雄	高知県スポーツ推進委員連絡協議会 会長
	大坪 豊寿	高知県スポーツ栄養士研究会 会長
	大野 吉彦	高知縣市町村教育委員会連合会 会長
	神家 一成	国立大学法人高知大学 教授
	田井 直子	NPO法人総合クラブとさ 事務局長
	川島 祥嗣	高知県高等学校体育連盟 会長
	西山 昌男	公益財団法人高知県体育協会 会長
	浜田 美穂	高知工科大学 教授 高知県卓球協会 副会長
	宮川 幸人	高知県中学校体育連盟 会長
	宮田 福	高知県医師会看護専門学校 非常勤講師
	矢野 雅子	高知県ママさんバレーボール連盟 会長
	山田 敦子	国立大学法人高知大学 名誉教授

※平成24年度までの前委員

	澤田 俊彦	高知県高等学校体育連盟 会長
	瀧本 豊	高知縣市町村教育委員会連合会 会長

高知県スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメントの結果及び回答

高知県スポーツ推進計画（案）について、ご意見を募集したところ2件のご意見をいただきました。

- 1 意見募集期間 平成25年7月10日～8月8日
- 2 意見数 2件
- 3 ご意見の内容と回答

番号	項目	意見の概要	高知県教育委員会の回答
1	生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高知県やスポーツ関係のホームページを見ているが、スポーツ団体等の活動情報がない。情報を掲示できる、また、探せる場所、ホームページを作ってほしい。 	<p>○ 市町村や総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ団体の協力を得ながら、スポーツ活動の情報ページをスポーツ健康教育課ホームページ内に作成を検討します。</p>
2	生涯スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを「やりたい人」と「入ってほしいクラブ」との橋渡しをしてほしい。 	<p>また、スポーツ団体等の紹介については、問い合わせがあれば、現在も対応していますが、今後は、前述のようなページを作成すること等により、充実させます。</p>

その他（電話でのご意見）

- ・ 初心者スポーツ体験教室等の体験後に参加できるサークル（受皿）を用意してほしい。